

## ヒグマ対策用フードコンテナの使用方法

ヒグマの生息地で野営を行う際、ヒグマが人間の食べ物や生ゴミのニオイに誘引されて近づいてくる場合があります。

このヒグマ対策用フードコンテナの中に食べ物などを入れて、宿営地（寝る場所・テントを張る場所）から離れたところに置くことで、就寝中、ヒグマが食べ物などのニオイに誘引されて宿営地に来てしまうのを避けることができます。

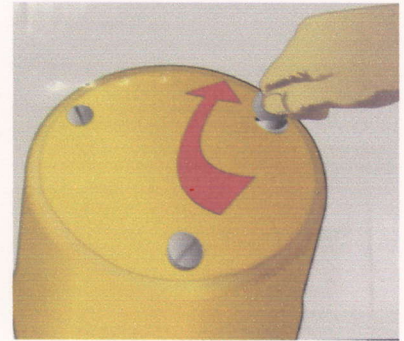
また、このフードコンテナをヒグマが見つけて、齧り付いたとしても、丈夫な素材でできているので、壊されることはありません。ヒグマに人間の食べ物を与えてしまうと、食べ物目当てで人間に近づいてくる危険なヒグマを作り出してしてしまうことがあります。

人身の安全とヒグマ本来の野生の姿を守るため、野営を行う際は、フードコンテナを正しく利用し、食べ物の適切な管理に努めましょう。

### 【 開け方・閉め方 】

フードコンテナのフタは、3つのロックをコインで回すことにより解除又はロックします。

宿営地から離れたところに置く際には、必ず3つのロックをかけてください。



### 【 食べ物のニオイを閉じ込めるものではありません 】

ニオイを閉じ込める効果は少ないので、食べ物や生ゴミは、ビニル袋に入れるなどして密封してから、フードコンテナの中に入れてください。

ただし、密封したからといって、宿営地に食べ物などの入ったフードコンテナを置くのは危険です。

### 【 宿営地から100m以上離れた場所に置きましょう 】

食べ物や生ゴミを入れたフードコンテナは、宿営地（テント等）から100m以上離れたところに置きましょう。

### 【 調理も宿営地から100m以上離れた場所で行いましょう 】

宿営地にヒグマを誘引させないためには、宿営地にニオイのするものを残さないことが肝心です。

調理も、できるだけ宿営地から風下（風が吹いて行く方）の方角で、宿営地から100m以上離れたところで行いましょう。

### 【 火の近くに置かないでください 】

耐火性はありませんので、フードコンテナを火の近くに置かないでください。